



# 町のわだい

今月の題字 佐々木 <sup>かいと</sup>海斗君 (豊間根小4年)



## 「ごっとな会」でソバ刈り体験 親子ら10人が収穫に汗流す

9月11日に白石集落農業生産組合「ごっとな会」(中村あづ子組合長)が主催するソバ刈り体験に親子連れなど10人が参加しました。この日収穫したソバは、7月に参加者が自分たちの手で種まきをしたもの。刈り取りを行う約200平方 畝 の畑には一面にソバの花が咲き、しっかりと実を付けています。10人は組合員の指導の下、茎を鎌で刈り、束にしてくる作業を繰り返すと額に汗を流しました。家族と参加した福士未来さん(8歳)は「茎が硬くて刈るのが大変でしたが、みんなでまいたソバをたくさん収穫できて嬉しいです」と満足気でした。

## 山田高生91人が「海の運動会」 生徒の熱気が浜にあふれる

8月26日、浦の浜海水浴場では「海の運動会」が行われ、山田高校(晴山 校長、生徒91人)全校生徒の熱気がビーチにあふれました。生徒はフットサルやビーチフラッグ、オリジナル競技の「出た目でGO!」など、全6競技で汗を流し、学年を超えて交流。競技終了後は、毎年行っている「浜辺のクリーン作戦」での清掃活動と地元の海への感謝も忘れません。準備・運営を担った実行委員長吉川奈々さん(3年)は「暑い中だったけど、最後まで笑顔でプレーできました。自慢の海での良い思い出です」と熱戦を振り返りました。



## 豊間根小・船越小の児童が定置網漁体験 海の仕事を肌で感じる

地元漁業への理解を深めようと9月7日、豊間根小学校(門田 校長、児童126人)と船越小学校(多田 校長、児童85人)の5年生36人が合同で定置網漁を体験しました。船越湾漁業協同組合(湊謙代表理事組合長)の協力により行われたもので、児童らは船越魚市場前から大島漁場へと移動。漁師の皆さんと重い網を引き上げると「大きい魚だ」と、大物のタチウオやマグロの姿に歓声を上げていました。船越小の菊地翔陽君は「揺れる船の上での作業は大変でしたが、たくさんの魚が獲れることが分かりました」と海の仕事を肌で感じていました。